

# 評価結果報告書

## 地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
<b>合計</b>	<b>30</b>

事業所番号	3970101212
法人名	有限会社 タオ
事業所名	グループホーム 針木 虹の里
訪問調査日	平成21年3月13日
評価確定日	平成21年6月12日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

### ○項目番号について

外部評価は30項目です。

「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。

「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

### ○記入方法

[取り組みの事実]

ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。

[取り組みを期待したい項目]

確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。

[取り組みを期待したい内容]

「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

### ○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

## 1. 評価結果概要表

## 【評価実施概要】

事業所番号	3970101212		
法人名	有限会社 タオ		
事業所名	グループホーム 針木 虹の里		
所在地 (電話番号)	高知市針木東町7-32 (電話)088-840-1144		
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成21年3月13日	評価確定日	平成21年6月12日

## 【情報提供票より】(21年 1月 1日事業所記入)

## (1)組織概要

開設年月日	平成 15年 7月 15日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	24 人	常勤 21 人, 非常勤 3 人, 常勤換算23.25 人	

## (2)建物概要

建物形態	併設	新築
建物構造	鉄骨 造り	
	4 階建ての	2 階 ~ 4 階部分

## (3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000~38,000 円	その他の経費(月額)	22,000 円	
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	200 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり		1,000円	

## (4)利用者の概要(1月1日現在)

利用者人数	27 名	男性	3 名	女性	24 名	
要介護1	9 名	要介護2	10 名			
要介護3	7 名	要介護4	0 名			
要介護5	1 名	要支援2	0 名			
年齢	平均	86 歳	最低	65 歳	最高	98 歳

## (5)協力医療機関

協力医療機関名	たむら内科クリニック	けやき胃腸科・内科	山崎歯科診療所
---------	------------	-----------	---------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

住宅街に位置しデイサービス、居宅介護支援事業所が併設されたホームである。ベランダのプランターにパンジーが植えられ、フロアにも季節の生花が活けられ季節が感じられる。2階から4階の3ユニットであり、各ユニット毎に利用者一人ひとりに合わせた取り組みが行われ、個性が出ている。散歩にもよく出かけ、近隣の方との関係も良好である。ホームの前の広場は、現在、駐車場を整備しており、工事完了後は残りのスペースで利用者が畑仕事をする計画がある。自分の老後と重ね合わせて利用者と温かく接している職員もおり、また、管理者も職員の質の向上のための研修に力を入れている。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	前回の外部評価の改善課題のうち、改善できることから取り組んでいるが、運営推進会議を活かした取り組み、運営に関する家族等意見の反映、災害時の非常食用料等の準備の3点については、引き続き改善計画を立てて、取り組むことを期待したい。
①	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	ユニット毎に「利用者と共に生きること」を基本に、職員全員で話し合い管理者がそれぞれの内容を取りまとめている。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	事業所から行事報告等を行い、質疑応答もある双方向的な会議となっているが、外部評価の課題や自己評価の内容が報告がされていない。今後は運営推進会議に報告し、意見等を聞く中でサービスの質の向上に繋げていくことを期待したい。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	行事の後で家族会を開催しているが、事業所からの連絡、報告が中心になっている。家族同士だけの話し合いの場を設けるなど、意見を引き出す仕組みづくりの検討を期待したい。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	年2回の地域一斉清掃に職員、利用者が参加するほか、地域の運動会、花見、敬老会にも参加している。毎月第2、第4水曜日に地域の高齢者に呼びかけ、カラオケコーラス「虹の会」で一緒に歌ったり、防災訓練に地域住民の参加、協力を得るなど、地域との交流も活発になっている。散歩や買物の時には、近所の方との挨拶も自然体で行っている。

## 2. 評価結果（詳細）

（  部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域密着型サービスとして、独自に作り上げられた理念がある。  「地域でのつながりを大切にする」という地域密着型の理念が作られている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み  管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。  理念を各フロアの目に付く場所に掲示し、確認している。また、ユニット毎のミーティングで意識づけの確認もしている。  <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。  利用者の思いを共有し一人ひとりの主体性を大切にして声かけするなど、優しく接している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい  事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。  <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。  年2回の地域一斉清掃に職員と利用者が参加するほか、地区の運動会、花見、敬老会などにも参加している。また、地域の高齢者に呼びかけカラオケコーラス「虹の会」をつくり交流している。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用  運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。  ユニット毎に職員同士が話し合い管理者がまとめている。  <input type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。  前回評価の課題について改善計画を立て、出来ることから取り組んでいる。運営委推進会議の活用、家族等の意見の反映、非常用食料等の準備については継続課題として残っている。	○	前回から残っている課題について、引き続き改善計画を立てて取り組むことが望まれる。

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	<p>○運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。</p> <p>事業所から行事の報告等を行い、参加メンバーから質問や意見が出され双方向的な会議になっている。</p> <p><input type="checkbox"/>評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。</p> <p>外部評価の課題や自己評価の内容について報告されていない。</p>	○	<p>運営推進会議に外部評価や自己評価を報告し、参加メンバーからも意見をもらいながら、改善に向けて取り組むことが望まれる。</p>
6	9	<p>○市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。</p> <p>利用者のケアや制度の運用等について市の介護保険課等に相談し、指導を受けている。また、2カ月に1回、地域包括支援センターの職員を交えた市内西部地区のグループホーム連絡会で意見交換をしている。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。</p> <p>家族の来訪時には近況を報告し、家族からの状況も聞き職員間で共有している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。</p> <p>広報紙「虹の里便り」を年3回発行しているほか、利用者が書いた年賀状、暑中見舞ハガキを出している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。</p> <p>金銭出納帳は1カ月毎に締めてコピーを送付し、家族の来訪時に確認のサインをもらっている。なお、領収書が送付されていないので、原本を家族に渡し、写しを事業所で保管することが望まれる。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
8	15	○運営に関する家族等意見の反映  家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。  行事の後で家族会を開催しているが、事業所からの連絡、報告が中心になっている。  <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。	○	家族同士だけの話し合いの場を設けるなど、意見を引き出す仕組みづくりの検討を期待したい。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮  運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。  1年間で4名の退職者があったが、ユニット間で経験のある職員の配置換えを行うなど、支援体制に配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。  引き継ぎの期間として2週間取っている。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み  運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。  パート職員も含め、全職員が研修に参加している。  <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。  研修報告・資料を回覧するほか、月1回のユニット会、2カ月に1回の全体会で報告し共有している。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上  運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。  県内、全国組織に加入し、サービスや職員資質の向上に繋げている。  <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。  西部地区グループホーム連絡会を事業所持ち回りで2カ月に1回開催し、サービスや質の向上に繋げている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めるとともに、本人、家族等の意向も確認している。</p> <p>自宅や病院に管理者、計画作成担当者が出向き、本人や家族と面談している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。</p> <p>本人や家族の見学を受け入れている。1週間の入居体験された事例もある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、複数の職員が面接を行っている。</p> <p>管理者、計画作成担当者、職員の3名で面接している。</p>		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、支援する側、される側という認識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>「一人ひとりの思いと共に生きる」という理念に沿って、人生の先輩である利用者との会話や共同作業をする中で、職員は教えてもらっているという姿勢で接している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員は利用者と共に暮らす者同士として、「哀しみ」、「不安」、「喜び」、「楽しみ」などの本人の思いを共感し、理解している。</p>		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>日々の暮らしや会話の中で、歌を歌ったり、畑仕事など、利用者の好みや希望等を把握している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族からの情報や、本人の生活歴、日々の表情、仕草から思いを汲み取るようにしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画  本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。  本人、家族の意見を聞き、介護計画に反映している。  <input checked="" type="checkbox"/> アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。  モニタリングは毎月行なっている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。  6カ月毎に見直している。  <input checked="" type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直し、計画内容に応じた個別の期間設定をしている。  状況の変化に応じ見直している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療機関と連携して、医療処置を受けながら事業所で生活が継続できるように努めている。  <input checked="" type="checkbox"/> 本人、家族の状況に応じて、通院や送迎、特別な外出、外泊などの支援を行っている。  かかりつけ医や特別な外出は家族が対応している。困難な場合は職員が支援している。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	○かかりつけ医の受診支援  本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。  本人や家族の意向を尊重して受診できるよう配慮している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。  <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。  業務日誌、健康管理表に記載して職員が情報を共有するとともに、看護師が管理している。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。</p> <p>看取り指針を作成しており、家族に説明し同意書もらっている。協力医療機関の医師との話し合いもやっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。</p> <p>本人、家族の希望に応じて、協力医療機関と連携し、安心して納得した最期が迎えられるよう取り組んでいる。</p>		
<p><b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b></p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p><input type="checkbox"/>人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。</p> <p>トイレの介助時にドアが開けられていたり、利用者への声かけで少し配慮に欠けている場面があった。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。</p> <p>守秘義務について、月1回のユニット会、2カ月に1回の全体会で確認している。</p> <p><input type="checkbox"/>全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。</p>	○	利用者への適切な言葉かけやプライバシーの保護への配慮等を徹底するとともに、個人情報保護法について研修を行うなど、職員の理解を徹底することが望まれる。
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりが「その日」にどのように過ごしたいかを把握し、それに応じて柔軟に支援している。</p> <p>利用者の趣味やその日の体調も考慮しながら何をしたいかを把握し、柔軟に対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。</p> <p>基本的な流れはあるが、一人ひとりのペースに沿ってゆっくりくつろげるよう支援している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援  食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。  野菜きざみ、下ごしらえ、テーブル拭き、下膳など利用者が出来ることを手伝ってもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。  職員が見守りながら、一緒に楽しく食事を取っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援  曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。  利用者の希望にあわせて入浴している。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。  職員が交代で対応したり、適切な声かけをするなど工夫をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援  張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握し、食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。  漬物の漬け方、五目寿司、あえ物の作り方などを教えてくれたり、食事の仕度など手伝ってくれたり、利用者が出来る喜びや、必要とされている事を感じてもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。  食事前の挨拶や体操の号令など、利用者の経験を活かした役割を作り出している。		
25	61	○日常的な外出支援  事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。  馴染みの美容院、スーパーに出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。  天気の良い日には近所の公園に散歩に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。  ユニット毎に買物や四季の草花の散策に行っている。ホーム全体では花見などの遠出もしている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	<p>○鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>居室や日中玄関に鍵をかけていない。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 利用者の外出の傾向を把握し、外出した時はさりげなく後について行くなど見守っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 運営推進会議のメンバーでもある民生委員の協力もあり、地域との関係を築いている。</p>		
27	71	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的実施している。 年2回、地域住民の参加、協力を得て避難訓練を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 消火器、非常用食料、備品は準備されているが、非常用食料については、県の社会福祉施設地震防災マニュアルに示す利用者、職員数の備蓄量の目安(3日分)からすると少ない。</p>	○	非常時の必要最小限度の水、食料の準備を検討することを期待したい。
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 健康チェック表、水分チェックシートで把握している。水分は一日1500CC取れるよう努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 散らし寿司や刺身、おやつなど、利用者の希望に沿った献立に配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 年3回、協力医療機関の管理栄養士にチェックを依頼している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 ( <input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。</p> <p>テーブル、椅子、ソファ、テレビ、本箱など、各ユニット毎に配置の工夫があり、ゆったりとした生活感のある共用空間となっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。</p> <p>利用者が写した風景写真や、皆で一緒に作ったちぎり絵、折鶴、絵手紙などが飾られ、家庭的な雰囲気に配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。</p> <p>玄関には折紙の桜が一面に貼られ華やかさが感じられる。各ユニットのフロアにも桜の生花、季節の花などが活けられている。</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。</p> <p>タンス、ラジオ、テレビ、収納チェスト、家族写真など、馴染みの物が置かれている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組んでいる。</p> <p>利用者と一緒に写真やカレンダーを飾ったり、模様替えをしている。</p>		